

81期 1月 重大事故 3件

事故管理No.	事故発生日	曜日	発生時間	事故区分	地区名	営業所名	氏名	職種	年齢	勤続	損害程度(品目・負傷状況) (損害額)	休業見込 (実休業)	荷主・相手方		事故内容
													名称	本・支店、工場	
J8100391	2026.01.21	水	08:30	貨物	関西	兵庫	協力会社乗務員	乗務	67	8年0ヶ月	空調機 3,000,000円弱	-	-	-	協力会社乗務員が、トラックの荷台上で、空調機を、輸送中に、センタースタクションが外れてしまい、製品に接触し破損させた。
確認日	2026/2/3	火	確認者 (安全)	発生要因	<ul style="list-style-type: none"> ■ シートが全掛けとなっていないにもかかわらず作業指揮者は未確認のまま運行、また、スタクション使用方法も教育未実施のため理解していなかった。 ■ スタクションへのゴム掛けは基本手順にはないが、これまでの経験から問題がなかったため行った。 ■ チェックシートにスタクションの記載はなくスタクション設置確認ができていなかった。 						再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ■ シート掛けとスタクション使用方法をワンポイントレッスンにまとめ全乗務員へ教育するとともに、シート全掛けを徹底させた。また、チェックシートにスタクション設置確認事項を追加運用した。 ■ 事故内容を顛末書にまとめ関係事業所へ共有した。 			

※ 参考

2	J8100386	2026.01.16	金	4:30	交通(対人)	東北	古川事業所	輸送会社乗務員	乗務	-	-	相手方乗務員他界 協力会社車両(全損) ガードレール(破損)	-	-	協力会社乗務員が県道を走行中、前方を3tユニック車がスリップ横転し道路を塞いだ状態に気付き回避しようとしたが、下り坂で路面凍結していたため制御不能となり相手方乗務員を轢くとともにガードレールを突き破り約3m下の田圃に転落・横転した。
												事故後の対応	<p>「1月リスク委員会報告」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 乗務員の健康状態及び拘束時間等に問題はなかった。 ■ 同日通達「交通事故発生に伴う冬期の安全運行再周知の件」を発信し、全社へ注意喚起を行った。特に、2025/12/2付通達「冬期の安全運行及び品質確保の件」への追加指示として二次被害防止のため、ドライバーへの準備を行うよう指示した。 <p>「事業所」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ リスクマップを作成し、自社・協力会社、関係者へ周知、注意喚起を行った。 		

※ 参考

3	J8100408	2026.01.30	金	12:00	交通(対物)	関西	奈良	自社乗務員	乗務	54	9年8ヶ月	右慢性硬膜下血腫及び胸部打撲 自社車両(全損) 電光掲示板・道路縁石(破損)	7日	-	業務車両を運転中、意識障害を起こしそのまま道路縁石を乗り越えて電光掲示板表示板に追突、車両は前方部を破損した。
												事故後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事故後、緊急手術により本人は1週間後、復帰している。 ■ 事故報告規則 第2条9号に基づき、国土交通大臣への届出を行う。 		